

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現在のかかりつけ医が健康面で不安な状況となり、以前のような往診を依頼するのが困難となりつつあり、先々も不安である。時折点滴を必用とする入居者の方も何名かおられるが、重度化した場合現在のナースだけでは足りない場面も有り得る。	重度化や終末期のケアにおいて心から安心出来る環境の構築。夜間(一人体制だが)時に救急自体が生じた場合に的確な指示を得られるシステム作り。	24時間訪問医療の医師と契約(徐々に)し、密なる連携を図ることによって、利用者もスタッフも安心出来るような体制にしていく。	6ヶ月
2	19	遠方で暮しておられるご家族も多く、密なる関係を保てる方々は限られている。憩に関する相談や苦情を受付ける別ルートの窓口が無い。	なるべく多くのご家族が、憩の家に対して色々な角度から忌憚なきご意見を述べて頂くようにして行く。	当ホームの苦情相談窓口のみならず、市の担当課や包括支援センター、または国保連の相談窓口等々のご利用をお知らせし、勧める。	6ヶ月
3		当ホームの運営推進会議に、市の担当者の方は概ね出席して下さるが、その度に違う方である事が続いた。また、行事へのご参加は残念ながら殆ど無い。	運営推進会議にはできるだけ同じ方が出席して頂く。行事などへの参加を小まめに呼び掛け出来るだけご参加頂く。	日頃から今以上に何かにつけ相談に乗って頂き、コミュニケーションを密接にする。様々な情報のやりとりをより一層増やして行く。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月